

③⑥新宿中央公園の魅力向上に関する取り組み

受賞機関 新宿区 みどり土木部 みどり公園課

キーワード Park-PFI、魅せる芝生、みはらしテラス

全建賞審査委員会の評価ポイント

Park-PFIを活用した賑わい創出機能を兼ね備える防災公園の整備。本公園は数年前までホームレスの問題などを抱え、利用者から悪いイメージを持たれていたが、平成29年9月に策定した「新宿中央公園魅力向上推進プラン」に基づくリニューアルを行い、昼夜ともに地域の賑わい拠点に転換した点が評価された。

1. はじめに

新宿中央公園は、新宿駅の西約1kmに位置し、面積約8万8千㎡を有する新宿区立で最大の公園である。当該公園は老朽化が進み、また「寝泊まりしている方が多くいた公園」「樹木が鬱蒼として薄暗い」などのイメージを持たれる状況であった。

このような状況の中、「誰もが誇りと愛着をもてる憩いと賑わいのセントラルパーク」を公園の将来像とし、また「交流できる空間、まちとの連携、みどりを活かす、公民連携」等を施策の方向性とした「新宿中央公園魅力向上推進プラン」を策定し、段階的に公園づくりに取り組むこととした。

2. 事業の概要

1) 取り組みの進め方

最初の取り組みは、区が実施する芝生広場等の再整備と同時に、Park-PFIを活用した施設を整備することで、憩いと賑わいの相乗効果を発揮させるとともに、これまでのマイナスイメージ打破に挑むこととした。

2) 区の取組み

再整備前の芝生広場は、高木が多く日当たりが悪いことから、芝が消滅して雑草や裸地が目立つ名ばかりの状態であった。そこで、思い切った樹木整理による日照の確保や土壌改良を行い、高層ビル中で青空と広大な芝生が楽しみ、開放感のある都会のオアシスを創出することとした。



高層ビル街のオアシス空間を創出

更に、園内に入っただけでアイキャッチとなり、またPark-PFI施設の真正面となる空間は、1年中美しい緑を見て楽しむことができる「魅せる芝生」を整備した。ここは原則立入禁止とし、配置の工夫により奥行き感が生まれ、実際以上に広く見せる効果も狙ったものである。

3) Park-PFIを活用した取り組み

一方、平成29年に創出されたPark-PFIを活用し、当区初となる飲食店等が入る公募対象公園施設の同時整備にチャレンジした。

令和2年7月、公募対象公園施設「SHUKNOVA」は、「スターボックス」「むさしの森Diner」（レストラン）、「PARKERS TOKYO」（ヨガスタジオ、ボルダリングジム等）、自由に利用できて眺望がよい「みはらしテラス」を設けて、区が再整備した芝生広場と同時にオープンした。また、「PARKERS TOKYO」は、区と連携し、新しくなった芝生広場や公園全体を活用したアウトドアプログラムを実施している。



魅せる芝生と公募対象公園施設「SHUKNOVA」

3. 事業の成果

オープン後、芝生広場は多くの利用者で賑わうとともに、「SHUKNOVA」は、コロナ禍にもかかわらず令和2年度の9カ月間で集客数22万人を記録することができた。また、公園の変貌ぶりや芝生の美しさ等を評価する声も届いており、同時整備による憩いと賑わいの相乗効果は、狙いどおり十分に発揮できたと考えている。

4. おわりに

オープン前にコロナ禍に見舞われ、人が集まる当該施設を本当にオープンさせてよいのかと困惑する状況であった。適切な感染防止対策を行った上で予定どおりオープンさせたことは、コロナ禍のストレスを解消する場を提供するとともに、新宿の新しい賑わいの場を創出することができたと考えている。